

Cisco DX80



製品概要

使いやすさと卓越したコラボレーション体験を提供する新たなアプローチの快適さをご確認ください。仮想コラボレーションを使用してご利用のデスクトップをアップグレードすれば、まるで他の参加者と同じ会議室でコミュニケーションしている感覚を体験できます。洗練された Cisco® DX80 を導入して従来型のデスクトップから卒業しましょう。オールインワン デスクトップコラボレーションでは、高解像度 (HD) ビデオ、ユニファイド コミュニケーション機能、ラップトップ用ディスプレイに加えて、さまざまな拡張機能を利用できます。DX80 の特長は次のとおりです。

- 常時接続された専用の 1080p 高画質ビデオ通信システム
- IP Phone を Cisco Unified Communications Manager (UCM) コール制御に登録
- スピーカーフォン用の高品位な音声システム
- 23 インチの 16:9 スクリーンが、ビデオ通話に魅力的なエクスペリエンスを提供
- 静電容量方式マルチタッチスクリーンの美しくパワフルなユーザ インターフェイス
- デバイスの簡単なセルフプロビジョニングで、開封後は即座に使用可能
- 管理者は、リモートワーカーのセキュアな接続を実現するために、Cisco Expressway または組み込みの Cisco AnyConnect® VPN を利用可能
- 主要なコラボレーション機能に制限したり、セキュリティを強化した Android オペレーティングシステムにより機能を追加したり、管理者が柔軟に設定可能

機能と利点

表 1 に、Cisco DX80 の機能と利点を示します。

表 1. 機能と利点

機能	利点
デザインの 特長	<ul style="list-style-type: none"> 数分でインストールが完了: DX80 はタッチ画面ですべての操作を制御可能な統合型デバイスです。電源ケーブルとイーサネット(または Wi-Fi を使用)を接続するだけで使用できます。セルフプロビジョニング型なのでデバイスは自動的に登録されます。認証するだけでセットアップは完了します。 対面式ビデオ: クラス最高水準のビデオと音声機能を備えた大型の 23 インチ画面で臨場感のあるコミュニケーションを実現します。インテリジェントな音声機能: DX80 はインテリジェントな音声機能を搭載しており、マイクアレイのセットによって背景雑音を排除し、リモートの通話相手のエクスペリエンスを向上します。 高性能モニター: DX80 をラップトップに接続して外部モニターとして利用できます。高コントラストの LED パネルは広い視野角を備え、全面タッチ入力に対応しています。 ドキュメントカメラ: DX80 上部のカメラを下に傾けると、物理コンテンツや図などを共有できます。 角度調節可能なスクリーン: デスクに座って楽な姿勢でデバイスの入力や操作を行いたいユーザーにも対応します。デバイスを簡単に手前に傾けることが可能で、テーブルとの角度を 40 度まで傾けることができます。
コンテンツ共有機能	<ul style="list-style-type: none"> ボタンをタッチするだけでマルチメディアやプレゼンテーションを共有: 通話中に画面上のコントロールバーを使ってラップトップの画面を表示したり、フル HD 画像で即座に共有することができます。 コンピュータと DX インターフェイスの簡単な切り替え: [Source] ボタンを押すだけで、モニターモードと DX80 インターフェイスを切り替えられます。
アプリケーションの特長	<p>次のアプリケーション機能を利用することで、管理者は DX シリーズの拡張機能を活用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> モバイル音声用 Cisco Intelligent Proximity: DX80 のインターフェイスからモバイルデバイスの連絡先を確認したり、モバイルデバイスから DX80 へ音声コールを転送したりできます。 WebEx[®] と Jabber[®] の統合 Google Android アプリケーションとの互換性: DX80 では規格に適合したすべての Android アプリケーションを実行できます。シスコではサードパーティ製アプリケーションはサポートしていません。アプリケーションに関するサポートが必要な場合、アプリケーションベンダーまたは開発者にお問い合わせください。
性能の特長	<ul style="list-style-type: none"> HD ビデオとコンテンツの同時共有 現在のすべての PC および Mac コンピュータに適合する RGB 入力 フルデュプレックス、フルバンド (CD 品質) での音声通信 Cisco UCM による容易なプロビジョニングと自動設定

製品仕様

表 2 に、Cisco DX80 の仕様を示します。

表 2. 製品仕様

機能	利点
コンポーネント	<p>すべてユニットに組み込み:</p> <ul style="list-style-type: none"> コーデック カメラ ディスプレイ マイクとラウドスピーカー <p>付属品: 画面用クリーニングクロス、HDMI ケーブル (2 m)、USB ケーブル (2 m)、イーサネットケーブル (2.9 m)、電源ユニット</p>
ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> 0.58 m (23 インチ) LCD モニタ 解像度: 1920 X 1080 (16:9) 高コントラストな IPS LED パネル コントラスト比: 1000:1 (通常) 視野角: +/- 178 度 (通常) 応答時間: 5 ミリ秒 (通常) 輝度: 215 cd/m² (通常) カラー深度: 1,670 万色 色域 72 % (NTSC) 10 ポイント マルチタッチ画面
対応 PC 入力解像度	最大 1080p

機能	利点
人間工学に基づいた設計	<ul style="list-style-type: none"> • スタンドを直立状態で格納でき、持ち運びが容易 • 画面を垂直位置より 11 ~ 50 度の角度に簡単に傾斜可能 • カメラを画面から -5 ~ 70 度の角度に簡単に傾斜可能 • コネクタのカバーを完全に取り外し、マグネットを使用してユニット後方に固定可能
音声	<ul style="list-style-type: none"> • ラウドスピーカーは前面パネルに備えられており、真正面から音声を聴くことが可能 • 2 つのアレイに 4 つのデジタル マイクを配置
カメラ(前面)	<ul style="list-style-type: none"> • 水平視野角 63 ° • 垂直視野角 38 ° • 解像度: 1080p30 • F 2.2 • 顔認識を使用したインスタント フォーカス • プライバシー シャッター
オペレーティング システム	Android OS 4.1.1
プロセッサ	TI OMAP 4470 1.5 GHz デュアル コア ARM Cortex-A9 プロセッサ
ストレージ	8 GB eMMC NAND フラッシュ メモリ(マルチメディア カード内蔵、不揮発性)
メモリ	2 GB RAM: 低消費電力、ダブル データレートの同期 DRAM(LPDDR2 SDRAM)
ポートおよびスロット	<ul style="list-style-type: none"> • PC または Mac ビデオ入力用の HDMI (High-Definition Multimedia Interface) タイプ A ポート • HDMI (High-Definition Multimedia Interface) タイプ A 出力ポート (将来に使用するための予備) • 高速な USB 2.0 ポート: <ul style="list-style-type: none"> ◦ 標準のタイプ A ポート X 3 (キーボード、マウス、USB メモリおよびメモリ スティック、ヘッドセットの接続用) ◦ 標準のタイプ B ポート X 1 (将来に使用するための予備) ◦ Micro-B の USB ポート X 1 およびネイティブ RS232 (シリアル ポート、修理用) X 1 ◦ 各 USB ポートで最大 500 mA の電力出力 (5 V または 2.5 W) • MicroSD 標準容量 (HDSC) スロット: アプリケーションまたはファイル拡張の不揮発性ストレージ用、最大 32 GB (標準解像度 (SD) カード スピード Class 4 以上を推奨)
物理的なボタン	<ul style="list-style-type: none"> • 静電容量感知式の [Source] ボタンを使用して、HDMI 入力と DX80 インターフェイスを切り替え可能、HDMI 入力の接続時にはボタンが点灯 • 音量アップまたはダウン • ミュート
視覚的インジケータ	<ul style="list-style-type: none"> • カメラ LED インジケータ (着信コール、カメラ起動) • マイク LED インジケータ (ミュート) • 電源ボタンの LED インジケータ (電源オン、スリープ、メッセージ待機、エラー) • [Source] ボタン (モニタ モード)
物理寸法 (高さ X 幅 X 奥行)	51.2 X 56.5 X 8.9 cm (20.2 X 22.2 X 3.5 インチ)
重量	7.1 kg (15.65 ポンド)
電源	定格: 最大 60 W 省電力スタンバイ モード 統合型 EnergyWise® サポート
物理的セキュリティ	Kensington セキュリティ スロットに対応
接続	
イーサネット	<ul style="list-style-type: none"> • 内蔵 2 ポート シスコ イーサネット スイッチにより、電話機と、それとともに配置した PC は両方とも、RJ-45 インターフェイスを介した単一の LAN 接続で 10/100/1000BASE-T イーサネット ネットワーク (IEEE 802.3i/802.3u/802.3ab) に直接接続できます。 • 音声およびデータトラフィックのセキュリティと信頼性を向上させるために、システム管理者は PC と電話機に別々の VLAN (IEEE 802.1Q) を指定することができます。
デスクトップ Wi-Fi	DX80 は有線イーサネットの代わりに Wi-Fi 無線接続をサポートし、Wi-Fi アクセス ポイント インフラストラクチャに接続するためのアンテナを内蔵しています。これにより、職場の環境ごとにイーサネット ケーブルを敷設する手間とコストを削減できます。

機能	利点
ネットワーク機能	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Discovery Protocol • Cisco Peer-to-Peer Distribution Protocol (PPDP) • Link Layer Discovery Protocol (LLDP) および LLDP Media Endpoint Discovery (LLDP-MED) • Session Initiation Protocol (SIP) シグナリング • Session Description Protocol (SDP) • User Datagram Protocol (UDP) (Real-Time Transport Protocol (RTP) ストリームの場合のみ使用) • Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) クライアントまたは静的設定 • 透過的なセキュア ローミング • Gratuitous Address Resolution Protocol (GARP) • オート ネゴシエーションの切り替え • ドメイン ネーム システム (DNS) • Web プロキシ (Protected Access Credential (PAC) ファイルの手動設定または自動設定) • NT LAN Manager (NTLM) および Kerberos の認証 • Trivial File Transfer Protocol (TFTP) • Secure Hypertext Transfer Protocol (HTTPS) • Wi-Fi 管理 • IPv4 設定 • IPv6 設定 • VLAN • Real-Time Control Protocol (RTCP) (より優れたビデオ体験を提供するために、RTP 上にジッター、遅延、ラウンドトリップ遅延などの QoS データを提供) • Secure Real-Time Transport Protocol (SRTP) • ソフトウェア ポート速度 (手動または自動設定、無効化も含む) • PC ポート速度 (手動または自動設定、無効化も含む)
Bluetooth	<p>Bluetooth 3.0 Enhanced Data Rate (EDR) Class 2 テクノロジー (最大範囲: 10 m (30 フィート))</p> <ul style="list-style-type: none"> • Human Interface Device (HID) のキーボードおよびマウスのサポートにより、入力アクセサリの追加が可能 • Hands-Free Profile (HFP) により、ヘッドセット接続および音声通信の配線が不要 • Phone Book Access Profile (PBAP) により、デバイス間での電話帳オブジェクトの交換が可能 • Advanced Audio Distribution Profile (A2DP) によるストリーミング オーディオ • Object Push Profile (OPP) による一般のファイル交換
アクセサリ	
Cisco VESA 用取り付けキット	オプションの取り付けキットには、DX80 フット スタンドの代わりに取り付け位置を 2 種類の VESA 標準規格 (75 X 75 mm または 100 X 100 mm) に変換できるアダプタが含まれます。そのアダプタを使用して、サードパーティ製取り付けソリューションや本キット付属の基本的な水平壁面取り付けをご利用いただけます。
ファームウェア	
バージョン	10.2.5 ファームウェア
コール プラットフォーム サポート: プロビジョニングと管理	<ul style="list-style-type: none"> • 最低サポート要件: Cisco UCM バージョン 8.5.(1)、8.6.(1)、および 8.6(2) • 推奨: Cisco UCM バージョン 9.1.(2)、10.5.(1) 以上 • Cisco Expressway でサポートされている最小バージョン Cisco UCM: 9.1(2) SU1 • Cisco Expressway の最小バージョン: X8.5.0 • Cisco Hosted Collaboration Solution (HCS) • Cisco Business Edition 6000 バージョン 9.1 以降
アップグレード プロセス	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCM によるデバイスのソフトウェア アップグレード • TFTP を使用したオンライン ファームウェア アップグレードをサポート • HTTP ファームウェア管理
温度範囲	
動作温度	• 0 ~ 40 °C (32 ~ 104 °F)
相対湿度	• 10 ~ 90 % (結露しないこと)
保管温度	• -20 ~ 60 °C (-4 ~ 140 °F)

機能	利点
認定および適合規格	
	<ul style="list-style-type: none"> 指令 2006/95/EC(低電圧指令): 標準 EN 60950-1 指令 2004/108/EC(EMC 指令): 標準 EN 55022、クラス B: 標準 EN 55024: 標準 EN 61000-3-2/-3-3 ETSI EN 301 489、ETSI EN 300 328、ETSI EN 301 893 準拠 指令 2011/65/EU(RoHS)、指令 2009/125/EC(ErP)、指令 2002/96/EC(WEEE) UL 60950-1 および CNA/CSA-C22.2 No. 60950-1-07 認証取得 FCC CFR 47 Part 15 クラス B 準拠 CFR 47 Part 15.247、CFR 47 Part 15.407、CFR 47 Part 2.1093 の FCC 適用 KDB に準拠

Cisco DX80 に関して、表 3 にビデオおよび音声の仕様、表 4 にソフトウェア機能、表 5 に Wi-Fi 機能および仕様を示します。

表 3. ビデオおよび音声の仕様

機能	仕様
ビデオ規格	H.264 AVC(H.264/MPEG-4 Part 10 Advanced Video Coding)
解像度の最小帯域幅とフレームレート (30 fps)	<ul style="list-style-type: none"> CIF 352 X 288 (4:3) 64 ~ 299 kbps VGA 640 X 480 (4:3) 400 ~ 1500 kbps 360p (640 X 360) 300 ~ 599 kbps 480p (848 X 480) 600 ~ 799 kbps 576p (1024 X 576) 800 ~ 1299 kbps 600p (1024 X 600) 800 ~ 3000 kbps 720p (1280 X 720) 900 ~ 1300 kbps 1080p (1920 X 1080) 2000 ~ 4000 kbps
フレームまたは画像形式	<ul style="list-style-type: none"> CIF (352 X 288 ピクセル) VGA (640 X 480 ピクセル) 240p (432 X 240 ピクセル) 360p (640 X 360 ピクセル) 480p (848 X 480 ピクセル) WSVGA (1024 X 600 ピクセル) HD 720p (1280 X 720 ピクセル) HD1080p (1920 X 1080 ピクセル)
ビデオ機能	<ul style="list-style-type: none"> ビデオおよびプレゼンテーション用のオンスクリーンレイアウトコントロール セルフビュー
対応 HDMI 入力解像度	<p>サポート対象の形式: 最大 1920 X 1080 @ 60 fps (HD1080p60)、以下を含む</p> <ul style="list-style-type: none"> 640 X 480 @ 60 fps 1280 X 720 @ 60 fps 1920 X 1080 @ 30 fps 1920 X 1080 @ 60 fps <p>注: 高画質入力はプログレッシブビデオ形式を使用</p>
音声規格	<ul style="list-style-type: none"> ナローバンド音声圧縮コーデック: G.711a、G.711u、G.729a、G.729ab、Internet Low Bitrate Codec (iLBC) ワイドバンドおよびフルバンドの音声圧縮コーデック: G.722、Internet Speech Audio Codec (iSAC)、AAC-LD (MP4A-LATM) 音声圧縮コーデック
音声機能	<ul style="list-style-type: none"> ラウドスピーカー周波数レンジ: 70 Hz ~ 20 kHz マイク周波数レンジ: 100 Hz ~ 20 kHz サンプリングレート最大: 48 kHz オートスタティックノイズリダクション 設定可能な指向性マイク アコースティックエコーキャンセラ オートゲインコントロール (AGC) アクティブリップシンク
デュアルストリーム	<ul style="list-style-type: none"> Binary Floor Control Protocol (BFCP) (SIP) デュアルストリーム 最大 1080p (1920 X 1080) 解像度をサポート

表 4. ソフトウェア機能

機能	仕様
Android の主な機能	<ul style="list-style-type: none"> カスタマイズ可能な Cisco Launcher と [ホーム スクリーン (Home Screen)] アプリトレイにより、アプリケーション ショートカット、ウィジェット、フォルダを自由に配置 [ホーム スクリーン (Home Screen)] では最大 5 つの画面ビューまたはページをサポート (12 X 9 のアイコン グリッド) 横長のアプリケーションをサポート オンスクリーン キーボードをサポート
Android のバンドルアプリケーションとウィジェット	<ul style="list-style-type: none"> カリキュレータ カレンダー カメラ 時計 連絡先 直通ダイヤル 電子メール <ul style="list-style-type: none"> インターネット メッセージ アクセス プロトコル (IMAP) ポスト オフィス プロトコル 3 (POP3) Microsoft Exchange ActiveSync お気に入り ギャラリー 電話機能 (全員へ転送、プライバシー、サイレント (DND)、モビリティ、セルフビューなど) 壁紙 (Live Wallpaper を含む) Web ブラウザ
Google のバンドルアプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> Google Play (管理者が Cisco UCM を通じて有効化。国別に承認された Google モバイル サービス アプリケーションを含む) Gmail Google 設定 地図 Play ブックス Play マガジン Play ムービー Play ミュージック Google Now
シスコのバンドルアプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> Cisco AnyConnect セキュア モビリティクライアント (VPN) Cisco Jabber IM (チャットとプレゼンスの機能を提供) Cisco WebEx 会議 Quick Contact Badge (発信、E メール メッセージやインスタント メッセージ (IM) の送信、WebEx 会議の開始など、連絡先とのコラボレーションを容易に実現) 表示によるボイスメール
モバイル音声用 Cisco Intelligent Proximity	<ul style="list-style-type: none"> PBAP をサポートする Android または iOS のモバイル デバイスと Bluetooth でペアリングすることで連絡先情報を同期 コール履歴の同期により、モバイル デバイスでの発信または不在着信の記録を DX80 で表示 音声パス ルーティングにより、モバイル デバイスに接続されたコールの音声を DX80 を通じて送信
設定モード	<ul style="list-style-type: none"> 拡張されたフル機能モード: アプリケーションやアカウントを含むフォン機能のすべての要素を有効化 簡易モード: アプリケーションとアカウントを無効化し、音声とビデオ通話のみを提供 パブリック モード: 簡易モードをベースとし、ユーザ設定の修正を制限したモード
アプリケーションの導入オプションと管理	<ul style="list-style-type: none"> 管理者は Cisco DX650/70/80 でのアプリケーション ダウンロードをすべて無効にできます。具体的にはサードパーティ製 Android アプリケーションのインストールを禁止するように DX650/70/80 を設定できます。 Google Play へのアクセスも管理者が無効 (デフォルト) にできます。「不明な供給元」のアプリケーションも管理者が無効 (デフォルト) にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> 管理者は Cisco UCM を使用し、APK ファイルからアプリケーションをインストールできます。 社内のフォト ディレクトリ (各ユーザに関連する画像の保存場所のディレクトリ URL をセットアップし、リンクを作成できます) 管理者は社内のフォト ディレクトリを使用して、各ユーザに関連する画像の保存場所のフォト ディレクトリ URL をセットアップし、リンクを作成できます。

機能	仕様
トレーニングとセットアップ アシスタントの組み込み機能	<ul style="list-style-type: none"> • セットアップ アシスタント ウィザード (E メール、Jabber IM、WebEx 会議、およびボイス メール アカウント設定を支援)
サードパーティアプリケーションの開発	Cisco Collaboration アプリケーション プログラミング インターフェイス (API) をソフトウェア開発キット (SDK) で提供 https://developer.cisco.com/site/dxseries/overview/index.jsp [英語]
言語サポート	<ul style="list-style-type: none"> • アラビア語、エジプト (ar_EG) • ブルガリア語、ブルガリア (bg_BG) • カタロニア語、スペイン (ca_ES) • 中国語、中国 (zh_CN) • 中国語、台湾 (zh_TW) • クロアチア語、クロアチア (hr_HR) • チェコ語、チェコ共和国 (cs_CZ) • デンマーク語、デンマーク (da_DK) • オランダ語、オランダ (nl_NL) • 英語、イギリス (en_GB) • 英語、米国 (en_US) • フィンランド語、フィンランド (fi_FI) • フランス語、フランス (fr_FR) • ドイツ語、ドイツ (de_DE) • ギリシャ語、ギリシャ (el_GR) • ヘブライ語、イスラエル (he_IL) • ハンガリー語、ハンガリー (hu_HU) • イタリア語、イタリア (it_IT) • 日本語 (ja_JP) • 韓国語 (ko_KR) • ラトビア語、ラトビア (lv_LV) • リトアニア語、リトアニア (lt_LT) • ノルウェー語ブークモール、ノルウェー (nb_NO) • ポーランド語 (pl_PL) • ポルトガル語、ブラジル (pt_BR) • ポルトガル語、ポルトガル (pt_PT) • ルーマニア語、ルーマニア (ro_RO) • ロシア語 (ru_RU) • セルビア語、セルビア共和国 (sr_RS) • スロバキア語、スロバキア (sk_SK) • スロベニア語、スロベニア (sl_SI) • スペイン語、スペイン (es_ES) • スウェーデン語、スウェーデン (sv_SE) • タイ語、タイ (th_TH) • トルコ語、トルコ (tr_TR)
通話機能のサポート	<ul style="list-style-type: none"> • + ダイヤリング (ITU E.164) • 短縮ダイヤル • 着信音と音声の音量調節 • ディスプレイ輝度の調節 • 自動応答 • ヘッドセットの自動検出 • 割り込み (cBarge) • コールバック • コール監察 • コール転送 • コール転送通知 • 通話履歴一覧 • コール パーク (ダイレクト コール パーク、アシステッド ダイレクト コール パークを含む) • コール ピックアップ • コール タイマー • コール ウェイティング

機能	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> ● 発信者 ID ● 社内ディレクトリ ● 会議(アドホック) ● 直接転送 ● 転送(iDivert) ● サイレント(DND) ● 拡張モビリティ サービス ● 高速ダイヤル サービス ● 強制アクセス コードおよびクライアント識別コード ● グループ コール ピックアップ ● 保留(および再開) ● インターコム ● 国際電話ロギング ● 参加(アドホック) ● 直前の番号のリダイヤル(LNR) ● 悪意のある発信元の識別 ● メッセージ待機インジケータ(MWI) ● Meet-Me 会議 ● モビリティ(Cisco Mobile Connect とモバイル音声アクセス) ● 保留音(MOH) ● ミュート(音声とビデオ) ● ネットワーク プロファイル(自動) ● オンネットワークとオフネットワークの固有呼び出し音 ● パーソナル ディレクトリ ● ピックアップ ● 送信前のプレダイヤル ● プライバシー ● Private Line Automated Ringdown(PLAR) ● ライン アビアランスごとの呼び出し音 ● セルフビュー(ビデオ通話) ● サービス URL ● 共有回線(複数も可) ● サイレント モニタリングと録音 ● 日時表示 ● 転送(アドホック) ● 表示によるボイスメール ● ボイスメール
緊急サービス	緊急通報サービスへのダイヤル
アクセシビリティ機能	<p>視覚、聴覚、身体に障がいをお持ちのユーザ向けに追加のアクセシビリティ機能が用意されています。次のような機能をユーザが定義、およびカスタマイズできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 表示フォント サイズと画面の輝度の設定 ● タッチスクリーンのタッチ アンド ホールドの遅延時間のカスタマイズ ● Talkback 音声プロンプトとパスワードの読み上げ ● Explore by Touch 機能のサポート
セキュリティ機能	
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> ● セキュアなブート ● セキュアな認証情報保存 ● デバイス認証 ● ファイルの認証と暗号化 ● 画像の認証と暗号化 ● シグナリング認証 ● ランダム ビットの生成 ● ハードウェア暗号化アクセラレーション ● 暗号化された設定ファイル ● ファイル システムの暗号化

機能	仕様
証明書の管理	<ul style="list-style-type: none"> • Certificate Authority Proxy Function (CAPF) のサポートによる追加のセキュリティ • メーカーでインストールされた証明書 (MIC) • ローカルで有効な証明書 (LSC) • X.509 デジタル証明書 (DER で暗号化されたバイナリ データ)。DER と Base-64 の両方の形式をクライアントとサーバの認証に使用可能。1,024、2,048、4,096 のキー サイズの証明書がサポートされる
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> • 有線: ネットワーク認証用の 802.1x サプリカント オプションは次のプロトコルを使用します。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 拡張認証プロトコル: Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secure Tunneling (EAP-FAST) ◦ 拡張認証プロトコル: EAP Transport Layer Security (EAP-TLS) • ワイヤレス (表 5 を参照) • ワイヤレス: Wi-Fi Protected Access 2 (WPA2) (EAP-FAST) • Wired Equivalent Privacy (WEP) • ワイヤレス EAP-TLS • Protected Extensible Authentication Protocol - Generic Token Card (PEAP-GTC)
メディアおよびデータシグナリング	<ul style="list-style-type: none"> • TLS • SRTP • HTTPS (クライアント)
社内ネットワークへのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco AnyConnect セキュア モビリティクライアント • Web プロキシ (Protected Access Credential (PAC) ファイルの手動または自動設定) • NTLM および Kerberos 認証
デバイス管理	<ul style="list-style-type: none"> • リモート ワイブ • ActiveSync リモート ワイブ (E メール、連絡先、カレンダーなど) • セルフサービス ワイブ • ログイン試行失敗後のワイブ • 出荷時の状態へのリセット
ポリシー管理	<ul style="list-style-type: none"> • 複雑なパスワード • USB の無効化機能 • スピーカーフォンの無効化機能 • ヘッドセットの無効化機能 • Secure Digital I/O (SDIO) の有効化/無効化 • Bluetooth • Wi-Fi • Android マーケットへのアクセス • 画面のロックとデバイスの自動ロック (暗証番号 (PIN) またはパスワード) • Android Debug Bridge (ADB)
診断	<ul style="list-style-type: none"> • 統合されたシスコ コラボレーション問題レポート ツールでは、電話やアプリケーションに問題が発生したときにシステム管理者に直接情報を送信できます (E メール アカウントの設定が必要)。

表 5. Wi-Fi 機能および仕様

機能	仕様
プロトコル	IEEE 802.11a、802.11b、802.11g、802.11n
周波数帯域および動作チャンネル	<ul style="list-style-type: none"> • 2.412 ~ 2.472 GHz (チャンネル 1 ~ 13) • 5.180 ~ 5.240 GHz (チャンネル 36 ~ 48) • 5.260 ~ 5.320 GHz (チャンネル 52 ~ 64) • 5.500 ~ 5.700 GHz (チャンネル 100 ~ 140) • 5.745 ~ 5.825 GHz (チャンネル 149 ~ 165) <p>注: IEEE 802.11d を使用して利用可能なチャンネルを識別します。</p>
非オーバーラップチャンネル	<ul style="list-style-type: none"> • 2.4 GHz (20-MHz チャンネル): 最大 3 チャンネル • 5 GHz (20-MHz チャンネル): 最大 24 チャンネル • 5 GHz (40-MHz チャンネル): 最大 9 チャンネル
動作モード	<ul style="list-style-type: none"> • 自動 (デフォルト)、2.4 または 5 GHz に対して最も強力な RSSI を推奨 • 2.4 GHz のみ • 5 GHz のみ

機能	仕様		
データレート	<ul style="list-style-type: none"> 802.11a: 6, 9, 12, 18, 24, 36, 48, 54 Mbps 802.11b: 1, 2, 5.5, および 11 Mbps 802.11g: 6, 9, 12, 18, 24, 36, 48, 54 Mbps 802.11n: HT MCS 0, MCS 1, MCS 2, MCS 3, MCS 4, MCS 5, MCS 6, および MCS 7 		
2.4-GHz レシーバ 感度	IEEE 802.11b: <ul style="list-style-type: none"> 1 Mbps: -95 dBm 2 Mbps: -93 dBm 5.5 Mbps: -90 dBm 11 Mbps: -86 dBm 	IEEE 802.11g: <ul style="list-style-type: none"> 6 Mbps: -89 dBm 9 Mbps: -89 dBm 12 Mbps: -87 dBm 18 Mbps: -85 dBm 24 Mbps: -81 dBm 36 Mbps: -78 dBm 48 Mbps: -74 dBm 54 Mbps: -72 dBm 	IEEE 802.11n HT20: <ul style="list-style-type: none"> MCS 0: -88 dBm MCS 1: -86 dBm MCS 2: -84 dBm MCS 3: -81 dBm MCS 4: -78 dBm MCS 5: -73 dBm MCS 6: -71 dBm MCS 7: -69 dBm
5-GHz レシーバ 感度	IEEE 802.11a: <ul style="list-style-type: none"> 6 Mbps: -91 dBm 9 Mbps: -91 dBm 12 Mbps: -90 dBm 18 Mbps: -88 dBm 24 Mbps: -85 dBm 36 Mbps: -81 dBm 48 Mbps: -77 dBm 54 Mbps: -76 dBm 	IEEE 802.11n HT20: <ul style="list-style-type: none"> MCS 0: -91 dBm MCS 1: -89 dBm MCS 2: -86 dBm MCS 3: -84 dBm MCS 4: -81 dBm MCS 5: -76 dBm MCS 6: -74 dBm MCS 7: -72 dBm 	IEEE 802.11n HT40: <ul style="list-style-type: none"> MCS 0: -90 dBm MCS 1: -87 dBm MCS 2: -85 dBm MCS 3: -81 dBm MCS 4: -78 dBm MCS 5: -74 dBm MCS 6: -72 dBm MCS 7: -70 dBm
トランスミッタの出力 電力	2.4 GHz: <ul style="list-style-type: none"> 802.11b: 最大 16 dBm 802.11g: 最大 16 dBm 802.11n HT20: 最大 15 dBm 	5 GHz: <ul style="list-style-type: none"> 802.11a: 最大 16 dBm 802.11n HT20: 最大 15 dBm 802.11n HT40: 最大 15 dBm 	
アンテナ	<ul style="list-style-type: none"> 2.4 GHz: 4.6 dBi ピーク ゲイン 5 GHz: 7.0 dBi ピーク ゲイン 		
アクセスポイントの サポート	<ul style="list-style-type: none"> シスコ ユニファイド アクセス ポイント <ul style="list-style-type: none"> 最小: 7.0.240.0 推奨: 7.4.121.0, 7.6.110.0 以降 Cisco Autonomous (自律) アクセス ポイント <ul style="list-style-type: none"> 最小: 12.4(21a)JY 推奨: 12.4(25d)JA2 以降 		
ワイヤレス セキュ リティ	認証: <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi Protected Access (WPA) バージョン 1 および 2 個人 および 企業 EAP-FAST Protected Extensible Authentication Protocol - Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol バージョン 2 (PEAP-MSCHAPv2) Protected Extensible Authentication Protocol - Generic Token Card (PEAP-GTC) EAP-TLS 	暗号化: <ul style="list-style-type: none"> 40 ビット および 128 ビット スタティック Wired Equivalent Privacy (WEP) Temporal Key Integrity Protocol (TKIP) および Message Integrity Check (MIC) Advanced Encryption Standard (AES) 	
高速セキュア ロー ミング	Cisco Centralized Key Management (Cisco CKM)		
QoS	<ul style="list-style-type: none"> IEEE 802.11e および Wi-Fi マルチメディア (WMM) Enhanced Distributed Channel Access (EDCA; 拡張型分散チャネルアクセス) QoS Basic Service Set (QBSS) 		
レーダー検出	IEEE 802.11h に従った Dynamic Frequency Selection (DFS; 動的周波数選択) および Transmit Power Control (TPC; 伝送パ ワー制御)		

ライセンス

電話機ライセンスは、コール制御プラットフォームおよびそのポリシーに依存します。Cisco Unified Communications Manager を使用するには、Cisco DX80 に最小レベルの Enhanced IP User Connect License (UCL) が必要です。Tier -2 ディストリビュータには、特別なライセンス付き電話機のバンドルはありません。DX80 は、サードパーティコール制御システムではサポートされません。

保証に関する情報

DX シリーズのエンドポイントは、シスコの 1 年間限定のハードウェア保証が付いてきます。保証については、Cisco.com の『[製品保証](#)』[英語] のページを参照してください。

発注情報

表 6 から表 8 は発注情報を示しています。製品の導入およびご利用の際にご購入が必要となる全種類のコンポーネントまたは部品をご案内しています。

シスコ製品の購入方法については、[購入案内のページ](#)を参照してください。ソフトウェアをダウンロードするには、[Cisco Software Center](#) にアクセスしてください。

表 6. 発注情報

製品名	製品番号
Cisco DX80	CP-DX80-K9=
Cisco DX80, TAA バージョン	CP-DX80-K9++=

表 7. 交換部品

製品名	製品番号
Cisco DX80 用 HDMI/USB グレー ケーブル	CAB-COMBO-2M=
Cisco DX80 用イーサネット グレー ケーブル	CAB-GREY-2.9M=
Cisco DX80 用フット スタンド	CP-DX80-FS=
DX70 および DX80 シリーズ用の電源変圧器	CP-PWR-CUBE-5=

表 8. アクセサリ

製品名	製品番号
Cisco VESA アダプタおよび壁面設置オプション	CP-DX80-VESA=
シスコ用 Jabra ハンドセット 450、米国、ホワイト	SPVAC-H450-W-US=
シスコ用 Jabra ハンドセット 450、台湾、ホワイト	SPVAC-H450-W-TW=
シスコ用 Jabra ハンドセット 450、日本、ホワイト	SPVAC-H450-W-JP=
シスコ用 Jabra ハンドセット 450、ヨーロッパ、オーストラリア、ニュージーランド、ホワイト	SPVAC-H450-W-EU=

シスコのサービス

シスコのサービスは、ネットワーク、アプリケーション、およびそれらの利用者の連携を強化します。

ネットワークは今、人、情報、アイデアのより高度な統合を必要とする世界において、戦略的プラットフォームとなっています。製品とサービスを組み合わせて、ビジネスのニーズと機会に即したソリューションを形成すれば、ネットワークはより効果的に機能するようになります。

ネットワーク ライフサイクルの各段階に必要なアクティビティが定義されたシスコ独自のライフサイクル アプローチにより、優れたサービスが確実に提供されます。シスコと優れたパートナーのネットワーク、そしてお客様の力を結合するコラボレーティブなサービス提供により、シスコは高品質の成果を達成します。

Cisco Capital

目標達成を支援する融資

Cisco Capital は、お客様が目標の達成と競争力の維持に必要なテクノロジーを導入できるよう支援します。お客様の CapEx を削減し、成長を加速させ、投資金額と ROI を最適化します。Cisco Capital ファイナンス プログラムにより、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および補完的なサードパーティ製機器を柔軟に購入することができます。支払いが統一されるため、予想外の支払いが発生することはありません。Cisco Capital は 100 カ国以上でサービスを利用できます。[詳細はこちらをご覧ください。](#)

関連情報

Cisco DX80 の詳細については、<http://www.cisco.com/web/JP/product/hs/iptel/dce/dx80/index.html> をご覧いただくか、最寄りのシスコ代理店にお問い合わせください。

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2016年4月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先